

令和3年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関フィッシングパーク
所在地	下関市吉見古宿町10番1号
指定管理者	名称 株式会社ハウスビルシステム
	代表者 代表取締役 坂下 芳史
	住所 大阪市北区梅田1丁目2番2-1200号
モニタリングの 実施方針・方法 等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	観光スポーツ文化部観光施設課
	TEL : 083 - 231 - 1838
	E-mail : sgshiset@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

指標:年間入園者数

(単位:人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計
目標値	15,000	15,600	-	-	-	30,600
実績値	13,802	-	-	-	-	13,802
差	△ 1,198	-	-	-	-	△ 1,198

令和3年度は、目標値に対し実績値が下回る厳しい結果となりました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休業期間はありませんでしたが、一度に多くの人が集まる釣り大会や釣り教室の実施を避けたことや、晩春から冬場にかけての釣果が非常に悪かったことが影響しているものと考えます。令和4年度は、引き続き感染症対策を徹底しながら、子供釣り大会や釣り教室等の計画的な実施によるファミリー層の取り込みや新規利用者の獲得を推進するとともに、入園者が安心、安全に利用できるサービスの提供及び施設の運営を求めます。

■ モニタリングの総合コメント

下関フィッシングパークは、快適な海釣りの場を提供することにより、市民の余暇の活用と健康の増進に資することを目的に設置された施設です。その管理運営状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。

管理運営業務については、指定管理者が運営するホームページで各営業日における釣果情報を更新し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮した上、開催可能な範囲でイベントを実施して利用者の促進に努めました。

なお、入園者数は、目標値を上回ることはできませんでしたが、令和2年度の実績値と比較すると微増となっています。これは、前年度に比べ、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休業期間がなかった点、アウトドアブームの影響により春から晩秋までの入園者数が順調に推移していた点、強風等による臨時閉園が14日間に減った点等によるものと考えます。

指定管理者が実施したアンケートによると、家族連れの利用者や女性の利用者が増加していることから、令和4年度以降においても、施設の衛生管理、感染症対策の徹底はもちろん、新規利用者の確保を目指して、より積極的なSNS等による広報活動に努めていくことを期待します。

なお、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施については、概ね適切に行われていることから運営としては良好と評価します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

令和4年度以降も、定期的に市と連携を図り、関係法令を遵守したうえで、施設の設置目的に沿って適正な管理運営を行い、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ利用者に満足していただける環境づくりに努める必要があります。

施設の性格から、一定数のリピーターは確保できていると考えられますが、更なる利用者の獲得のため、今後もホームページはもちろん、フリーペーパーやSNS等による広報を積極的に活用していく必要があります。イベントについても、指定管理者が運営する他の海釣り施設で培ったノウハウを発揮し、定期的にイベント内容や回数、開催時期の見直しを実施し、創意工夫によって目標値を達成することを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的に沿って適切に運営されており、市民及び観光客が公平・平等に利用できるよう努力していました。釣果情報をほぼ毎日指定管理者が運営するホームページで提供する等、施設利用者が利用しやすいよう工夫されています。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)

施設運営に関する業務を事業計画に則り適切に実施していました。昨年度と同様、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、一部イベントの中止をしましたが、感染症対策を講じた上で実施可能なイベントは開催し、新聞やフリーペーパー、SNS等の情報提供にも随時対応して施設の周知と利用者の増加に努めました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に運営していました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

業務報告書は、各月の運営業況を適切に分析して作成していました。事業報告書については一部報告漏れの事項がありましたが、概ね適切に作成しています。施設の維持管理についても計画どおり実施されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

下関フィッシングパーク安全対策基準を遵守し、適切な安全管理に努めていました。また、AED、救命用具、無線機、監視カメラといった備品や設備を備え付け、安全管理に努めました。
また、新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒液やサーマルカメラの設置を行うなど、適切に実施していました。

社会性(環境等への配慮)

排出したごみの量を記録する等下関市エコマネジメントプランに基づき、環境に配慮した運営が行われました。

事業収支

経済性

事業収支については、事業計画の範囲内において適正に執行されていました。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況について特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関フィッシングパーク
所在地	下関市吉見古宿町10番1号
指定管理者	名称 株式会社ハウスビルシステム
	代表者 代表取締役 坂下 芳史
	住所 大阪市北区梅田1丁目2番2-1200号
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	観光スポーツ文化部観光施設課
	TEL : 083 - 231 - 1838
	E-mail : sgshiset@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

指標:年間入園者数

(単位:人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標値	15,000	15,600	16,000	-	-
実績値	13,802	11,199	-	-	-
差	△ 1,198	△ 4,401	-	-	-

令和4年度も昨年度に引き続き目標値に対し実績値が下回る厳しい結果となりました。要因としては、釣りシーズンに人気魚種であるアジの釣果がまばらだったことや、秋以降の釣果不良が影響であると考えます。令和5年度は恒例の子供釣り大会や釣り教室等の計画的な実施によるファミリー層の取り込みや新規利用者の獲得を推進するとともに、入園者が安心、安全に利用できるサービスの提供及び施設の運営を求めます。

■ モニタリングの総合コメント

下関フィッシングパークは、快適な海釣りの場を提供することにより、市民の余暇の活用と健康の増進に資することを目的に設置された施設です。その管理運営状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。

管理運営業務については、指定管理者が運営するホームページで各営業日における釣果情報を更新し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮した上で多くのイベントを実施して利用者の増加に努めました。

入園者数は、釣りシーズンに人気魚種であるアジの釣果がまばらだったことや、秋以降の釣果不良の影響があったことにより、令和3年度の実績値と比較すると減となっていますが、利用者の内訳としては、指定管理者が実施したアンケートによると、令和4年度はサビキ釣り教室が好評だったこともあり、家族連れや女性の利用者が増えてきています。またSNS等による広報活動が浸透していきいているため、令和5年度以降においても新規利用者確保を目指すことを求めます。

施設については、長年の劣化が激しく傷んでいる箇所が多いが、市としても予算をかけて修繕を実施するため、安全安心な施設管理を求めます。

なお、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施については、おおむね適切に行われていることから運営としては良好と評価します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

令和5年度以降も、定期的に市と連携を図り、関係法令を遵守した上で、施設の設置目的に沿って適正な管理運営を行い、アフターコロナで活動が増える利用者に満足していただける環境づくりに努める必要があります。

施設の性格から、一定数のリピーターは確保できていると考えられる一方、釣果状況により利用者の増減はあるので、更なる利用者の獲得のため、今後もホームページはもちろん、フリーペーパーやSNS等による広報を積極的に活用していく必要があります。イベントについても、指定管理者が運営する他の海釣り施設で培ったノウハウを発揮し、定期的にイベント内容や回数、開催時期の見直しを実施し、創意工夫によって目標値を達成することを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的に沿って適切に運営されており、市民及び観光客が公平・平等に利用できるよう努力していました。釣果情報をほぼ毎日指定管理者が運営するホームページで提供する等、施設利用者が利用しやすいよう工夫されています。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

施設運営に関する業務を事業計画にのっとり適切に実施していました。令和4年度はここ数年新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施ができなかったイベントを感染症対策を講じた上で開催できました。新聞やフリーペーパー、SNS等の情報提供にも随時対応して施設の周知と利用者の増加に努めました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に運営していました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

業務報告書は、各月の運営状況を適切に分析して作成していました。事業報告書についてはおおむね適切に作成しています。施設の維持管理についても計画どおり実施されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

下関フィッシングパーク安全対策基準を遵守し、適切な安全管理に努めていました。また、AED、救命用具、無線機、監視カメラといった備品や設備を備え付け、安全管理に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒液やサーマルカメラの設置を行うなど、適切に実施していました。

社会性(環境等への配慮)

排出したごみの量を記録する等下関市エコマネジメントプランに基づき、環境に配慮した運営が行われました。

事業収支

経済性

事業収支については、事業計画の範囲内において適正に執行されていました。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況について特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和5年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関フィッシングパーク
所在地	下関市吉見古宿町10番1号
指定管理者	名称 株式会社ハウスビルシステム
	代表者 代表取締役 坂下 芳史
	住所 大阪市北区梅田1丁目2番2-1200号
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	観光スポーツ文化局観光施設課
	TEL : 083 - 231 - 1838
	E-mail : sgshiset@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

指標:年間入園者数

(単位:人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
目標値	15,000	15,600	16,000	16,000	-
実績値	13,802	11,199	9,311	-	-
差	△ 1,198	△ 4,401	△ 6,689	-	-

令和5年度も昨年度に引き続き目標値に対し実績値が下回る結果となりました。要因としては、秋以降の釣果不良が考えられ、特に釣りシーズンに人気魚種であるアジの釣果がまばらだったことなどが影響したと考えます。令和6年度は、恒例の子供や初心者などの釣り大会や釣り教室等の計画的な実施によるファミリー層の取り込みや、新規利用者の獲得を推進するとともに、入園者が安心・安全に利用できるサービスの提供及び施設の運営を求めます。

■ モニタリングの総合コメント

下関フィッシングパークは、快適な海釣りの場を提供することにより、市民の余暇の活用と健康の増進に資することを目的に設置された施設です。その管理運営状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。

管理運営業務については、指定管理者が運営するホームページで各営業日における釣果情報を更新し、多くのイベントを実施して利用者の増加に努めました。

入園者数は、釣果不良の影響があったことにより、令和4年度の実績値と比較すると減少していますが、利用者の内訳としては、指定管理者が実施したアンケートによると、令和5年度はサビキ釣り教室やはじめての魚拓体験などが好評だったことに加え、「女性サビキ釣り大会」を新規で実施したこともあり、家族連れや女性の利用者が増えてきています。またSNS等による広報活動が浸透してきているため、令和6年度以降においても新規利用者確保を目指すことを求めます。

施設については、長年の劣化が激しく傷んでいる箇所が多い状況ですが、市としても出来る限り予算をかけて修繕を実施するため、安全・安心な施設管理を求めます。

なお、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施については、おおむね適切に行われていることから運営としては良好と評価します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

令和6年度以降も、定期的に市と連携を図り、関係法令を遵守した上で、施設の設置目的に沿って適正な管理運営を行い、アフターコロナで活動が増える利用者に満足していただける環境づくりに努める必要があります。

施設の性格から、一定数のリピーターは確保できていると考えられる一方、釣果状況により利用者の増減はあるので、更なる利用者の獲得のため、今後もホームページはもちろん、フリーペーパーやSNS等による広報を積極的に活用していく必要があります。イベントについても、指定管理者が運営する他の海釣り施設で培ったノウハウを発揮し、定期的にイベント内容や回数、開催時期の見直しを実施し、創意工夫によって目標値を達成することを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的に沿って適切に運営されており、また、イベント情報や釣果情報を指定管理者が運営するホームページやSNSなどで提供する等、施設利用者が利用しやすいよう工夫されています。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)

施設運営に関する業務を事業計画にのっとり適切に実施していました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施ができなかったイベントを開催できました。新聞やフリーペーパー、SNS等の情報提供にも随時対応して施設の周知と利用者の増加に努めました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に運営していました。利用者から出た意見・要望等について、市への情報共有を行うとともに改善に努めました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

業務報告書は、各月の運営状況を適切に分析して作成していました。事業報告書についてはおおむね適切に作成しています。施設の維持管理についても計画どおり実施されていました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

下関フィッシングパーク安全対策基準を遵守し、適切な安全管理に努めていました。また、AED、救命用具、無線機、監視カメラといった備品や設備を備え付け、安全管理に努めました。

社会性(環境等への配慮)

排出したごみの量を記録する等下関市エコマネジメントプランに基づき、環境に配慮した運営が行われました。

事業収支

経済性

事業収支については、事業計画の範囲内において適正に執行されていました。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況について特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。